

「日本大学全国高等学校土木設計競技」にて2年連続「最優秀賞」!!

全国の高校生を対象とした日本大学主催の「第3回日本大学全国高等学校土木設計競技」にて2年土木科の堀川美路杏・保川明香里のチーム「join」が最優秀賞を受賞しました。

チーム「join」はポスターによる1次審査を通過し、2次審査の8チームによるプレゼンテーションを勝ち抜き、見事に入賞しました。高知工業高校としては昨年に引き続き最優秀賞を受賞することができました。おめでとうございます!!

◆テーマ：“レインボーブリッジを架け替えろ”－東京港の橋を考える－

2080年、日本では3回目のオリンピック・パラリンピックが東京で開催されることとなった。オリンピック・パラリンピックの会場は、“リユースと環境”をテーマに第2回東京オリンピック会場を中心に計画されている。その会場のゲート的な存在であったレインボーブリッジ（竣工1993年）は、約100年の耐久性で設計されていたが、度重なる大型台風の襲来、地球温暖化による温度応力の上昇、トラック荷重の増加による疲労により老朽化が激しく架け替えの計画が浮上した。橋の材料は、かつて木材から石材、鋳鉄、鋼、プレストレストコンクリート、FRPへと、高強度かつ軽量化された材料に進化している。東京港の顔である台場という位置に架橋されているレインボーブリッジの架け替え、君ならどんな橋を架橋するか提案して欲しい。



◆入賞者名

堀川美路杏（2年土木科）

保川明香里（2年土木科）